

# 県立医科大学附属病院(橿原市) 新病棟が一部オープン

奈良県立医科大学附属病院では、平成23年より新病棟(E病棟)の建設を進めています。11月5日から一部がオープンし、最新の治療装置などが稼働し始めます。



### 放射線治療室(地下1階)

放射線治療は、副作用が少ない“体にやさしい”がん治療。最新の治療装置2台を導入し(うち1台は日本初)、動きのある部位や複雑な形状のがんでも、高精度の治療が可能になります。

治療時間も短くなります!



BGMや  
卓上テレビで  
くつろぎながら  
治療に専念!

### 外来化学療法室(1階)

がん薬物療法の最近の進歩は著しく、次々と有効な新薬が登場しています。

治療用ベッドを増設し(14床→26床)、専任スタッフが「有効で安全な化学療法」を実施します。



### 中央臨床検査室(2階)

最新の分析機器を導入し、短時間で多くの検査が実施可能に!

より早く質の高い検査データを報告し、病気の診断・治療をサポートします。

当日採血の結果も早く出ます!



小児センター(E病棟7階:イメージ)



ホスピタルストリート(1階:イメージ)



産科病室(E病棟5階:イメージ)



E病棟全体完成イメージ(平成28年3月竣工予定)

### 引き続き整備を進めています。

12月から古い病棟の解体を手始めに、北半分の病棟建設に着手します。平成28年には病棟全体が完成し、現在の産科・新生児などの周産期部門や小児センター、手術室などが新病棟に移転します。工事期間中など、ご迷惑をおかけしますが、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

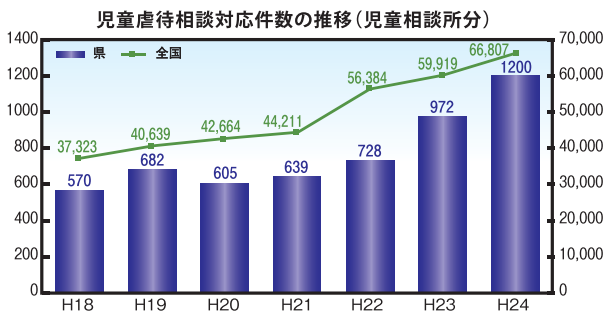
11/5  
から

# 「子ども虐待防止」へ、みんなの力を!

11月は「児童虐待防止推進月間」です。児童虐待は周りの人たちによっても防ぐことができます。この機会にあなたにできることを考えてみましょう。

## ●子どもへの虐待の相談が増加しています

「児童虐待」への関心の高まりもあり、「近隣・知人」からの児童虐待相談件数が大幅に増加しています。児童虐待の早期発見には、皆さんからの通報が大変重要です。「虐待かな?」と思ったら、ためらわずに相談してください。



### 連絡先

- 市町村の児童福祉担当窓口  
☎各市町村役場 ☎各市町村により異なります
- 県中央子ども家庭相談センター  
☎0742-26-3788  
☎児童虐待の緊急連絡は、24時間受付
- 県高田子ども家庭相談センター  
☎0745-22-6079  
☎月～金 9時～17時(祝日・年末年始除く)

## ●虐待はなぜ起こるのか

虐待が起こりやすい要因は、下記の3つがあり、要因が重なると、虐待へと発展してしまう可能性があります。

### 保護者の要因

- 育児の負担が大きい
- 育児に不安がある
- 体調が悪い
- ストレスを感じている など



### 養育環境の要因

- 経済的に困っている
- 身近に相談する人がいない
- 夫が子育てに協力してくれない
- 地域や親族などと交流がなく、孤立している など



### 子どもの要因

- 病気などによるケアが必要
- 泣きやまない、かんしゃくが激しい など



保護者が子どもを「手のかかる子」「育てにくい」と感じてしまいます

## ●地域で虐待が起こらないようにするためには

最近、核家族化の進行や近所付き合いの希薄等により、子育て家庭が孤立しがちになり、ストレス、育児不安を抱える家庭が多くなっています。地域が一体となって子育て家庭を支援することが必要になっています。

## ●通報した後の地域の役割

通報を受けた市町村や子ども家庭相談センターは、家庭訪問など調査を行います。緊急度の高い場合には、子ども家庭相談センターで一時保護を行い、それ以外の多くの子どもたちは、行政の支援を受けながら地域で生活しています。そのため、今後も地域の皆さんの継続的な見守りが重要となります。



### ◆あなたにできること

子育て家庭へは周囲の皆さんの温かい一声が大きな救いになります。子育てへのねぎらいの気持ちを持って、まずはあいさつを交わすことから始めてみてください。

## 子育て中の皆さんへ

- ♥ 子育ての悩みなどを相談したり、子育て中の仲間に出会える「地域子育て支援拠点」や、保育所等で一時的に子どもを預かってもらえる「一時預かり」など市町村の子育て支援サービスを利用してみてください。
- ♥ 市町村が実施する育児教室へぜひ参加してみてください。
- ♥ 他にもたくさんの子育てサポートがあります。詳しくは、お住まいの市町村子育て支援担当課へお問い合わせください。